

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

関中だより

令和元年
12月19日
第28号
(文責 花岡)

冬休みはどう過ごす

二学期は、体育祭、文化祭、人権フォーラムと色々な活動を通じて、ひとまわり成長してくれたように思います。
まもなく冬休みに入りますが、冬休みの生活については、夜型の生活になりやすくリズムをくずしがちになる人が多いので、特に意識して自分の生活を作り出す必要があります。

冬休みは、勉強はもちろんです。が、家庭の一員として家の掃除や片付けなどを手伝い、有意義な冬休みを過ごしましょう。



ヒューマンフェスタ in 亀山に参加して

十二月七日(土)に市のヒューマンフェスタが亀山小学校の体育館で行われました。最初に亀山の三中学校の人権作文発表があり、関中学校からは、一年の桑名大和さんに「高齢者の人権について」という題で人権作文を読んでもらいました。自分の身の回りのことから人権について深く掘り下げた、すばらしい発表でした。

また、関中学校のヒューマンライツのメンバーが、ボランティアスタッフとして各ブースの運営に協力してくれました。



このQRコードを読み込むと学校のホームページに行けます



生き方を学ぶ講演会 1/14(火)

本年度の学力調査のアンケートで、「将来の夢や目標をもっているか?」「人の役に立つ人間になりたいか?」という問いで「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた人の割合が全国に比べて低い結果となり、他の人の生き方に学び、考えていく必要があるのではないかと考えました。
そこで、3学期のはじめに、亀山市のことも未来課のご協力を得て、「思春期ライフプラン教育啓発事業」を受けて、講演会を行います。
全校生徒対象で行いますが、保護者の方やCS委員の方も参加できます。申し込みは不要ですので、都合が合いましたら当日お越しください。
講演をしていただく野澤さんは、10月24日に中国の方が視察に見えたとときに、その仲介として関中学校に来ていただいています。
そのときに「機会があれば、ぜひお話がしたい」とおっしゃってくださった方です。

演題 「私の可能性に気づく」

講師 株式会社ラボ 代表取締役 野澤 卓央

日時 令和2年1月14日(火) 5・6限
13:30~15:00 (講演予定)

場所 関中学校多目的ホール

対象者 関中学校生徒 職員 (PTA、CS委員 希望者)

ホームページよりプロフィールを抜粋しました

野澤 卓央(のさわ たくお) コツの専門家
1977年、愛知県生まれ。事業家、体験作家、講演家、NHK文化センター、大学講師

小学校6年生から中学時代は不登校。
高校時代も退学寸前の問題児だったが、友人の母親からの愛情ある励ましで更生。大学に進学するも自分探しと称して、25歳までアジア放浪の旅を続ける。

今後の予定

- 《1月》
8日(水) 始業式
9日(木) 給食開始日
3年実力テスト・1、2年確認テスト
14日(火) 5、6限 講演会
20日(月)~22日(水) 3年学年末テスト
22日(水) 2年生みえスタディチェック
- 《2月》
6日(木)・7日(金) 県立高校前期選抜
12日(水) PTA役員会
15日(土) 土曜授業 学校ふれあいデー
19日(水)~20日(木) 1、2年学年末テスト
3年実力テスト
21日(金) 1、2年学年末テスト
28日(金) 3年生を送る会
- 《3月》
6日(金) 卒業式
10日(火) 県立高校後期選抜
19日(木) 市内小学校卒業式
25日(水) 修了式



しかし、カンボジアで、生きるために働く5歳の少女に出会い自分は何と貧乏なことか悩んでいたのかと反省し日本に戻ることを選び、帰国後、青果市場に就職。その後、美容室を運営する関連会社に入社し、企業内起業で美容商材を扱う事業部を立ち上げ、車の中で寝泊まりしながら日本全国を営業してまわり年商1億円の部署に成長させる。

2006年に単身独立し、株式会社ラボを設立する。
同じころ作家のひすいこたろう氏に出会う。
氏の一言がきっかけで、社会に出たころから書きためていた、自らの失敗体験と尊敬する人々からの教えを、『たった一つの小さな「コツ」があなたを変える』としてメルマガで配信し始める。
途中事業に失敗し一億円の借金を背負い、死ぬしかないとまで考えた時期もあったが、メルマガの配信だけは毎日続けた。現在まで4100日以上一日も休まず配信し続けている。

現在は、株式会社ラボを経営する傍ら、多数の企業、経営者向け法人会、教育の現場、小学校から大学まで、幅広い層に向けて「自らの失敗談とそれを乗り越えられた先人の具体的な教え」を次の人に伝える講演活動を行っている。